

日本学術会議農学委員会 植物保護科学分科会（第26期・第3回）議事要旨

開催日：令和6年6月28日（金）11：00～13：00

場所：場 所 日本学術会議5-C(1)会議室及び Zoom によるハイブリッド会議

会議形式：対面・ビデオ会議（Zoom）ハイブリッド形式

出席者：渡辺京子、阿部芳久、大黒俊哉、小野正人、西田智子、林謙一郎、藤井一至、松田一彦、松田一彦

欠席者：中嶋康博

陪席者：増田能伸（事務局）

議 題：

（1）連携会員（特任）の参加について

植物病理学関係の専門とする人物を分科会参加のために連携会員（特任）として推薦する件について、委員長より被推薦者の経歴、専門分野について説明があり承認された。

（2）シンポジウム開催について

松本副委員長より、令和6年度の学術会議植物保護科学分科会と植物保護科学連合との共催となるシンポジウムについて進捗状況が説明された。日程を11/30（土）としてオンラインで開催すること、シンポジウムタイトルは「総合的病害虫・雑草管理の現状と望まれる新技術（仮題）」とすることが承認された。また、植物保護科学連合の加盟学会から講演者と講演タイトルおよび座長（運営委員に務めていただく）を8月末日までには松本副委員長（植物保護科学連合運営委員会委員長）へ届け出ることが確認された。

（3）意思の表出に向けた準備について

委員長より、意思の表出に向けた活動について、原案作成に向けた準備状況を中心に説明があり、今後の進め方について委員の間で意見交換を行った。勉強会やシンポジウムなどを定期的に開催し多様な意見を集めて集約し、意思（提言）の発出を目指した活動をしていく方針が示され承認された。

報告：

（1）新委員の紹介

阿部芳久氏（九州大学大学院比較社会文化研究院教授）が本分科会の成員となることが紹介された。

（2）その他

委員長より、令和6年（2024年）8月8日（木）に開催される日本学術会議第二部・岡

山大学主催によるシンポジウムについて、報告があった。

以上